

令和5年度 大曲南中学校グランドデザイン

教育目標 「自律」「貢献」

～ 夢大きく 協働的に探究し 誰一人取り残さない社会をつくる ～

(1)SDGsの達成に向けたESDの実践による「生きる力」の育成 (2)「確かな学力」向上のための「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 (3)特別支援教育の充実 (4)大仙教育メソッドによる地域等と連携した教育活動の実施

生徒の実態

- 明るく素直, 思いやりの心
- 基礎学力の定着
- ▲協働的な学び
- ▲多面的な見方や考え方及び批判的に考える力

目指す生徒の姿

- 自律:自ら「問い」を発し, 批判的に考え, 自ら判断し, 多様な他者と協働して「答え」を出すことができる生徒
- 貢献:多様性を尊重し, 優しさをもって人と接するとともに, グローバルな視点で世界を見つめ, 地域活性化に寄与することができる生徒

持続可能な社会の創り手となるための資質・能力

学びに向かう力, 人間性等

「確かな学力」
「健やかな体」
「豊かな心」

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

何ができるようになるか

- 多様な他者と協働しながら探究的に学ぶこと。
- 「問い」を立て解決の方法を考え実行すること。
- 批判的、多面的・総合的に考えること。
- 学んだことを発信したり、生活に活用したりすること。
- 社会の一員としての自覚をもち、社会に貢献すること。

「社会に開かれた教育課程」の実現

何を学ぶか

- 各教科等の内容及び学ぶ意義
- 総合的な学習でのSDGsの達成に向けたESDの実践による「食育」「エネルギー教育」「国際教育」の系統的な学びとつながり。
- 他者・社会・自然との関連性を認識し、行動化につながる新たな価値観
- 他者と協力する態度や進んで参加する態度

どのように学ぶか

- 教科の特性に応じた「見方・考え方」を働かせたり、ICT等を活用した個別最適な学びと、学び合い等による協働的な学びを一体的に充実させたりすることにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
- SDGsの達成を視野に入れながら、各教科等横断的な視点でESDを推進する。

実施するために何が必要か

- ◇生徒も教師もwell-beingにある学校→「主体的な生徒会活動」「業務改善」
- ◇SDGsの達成に向けたESDの実践による多様な教育活動の展開→「探究的な学び」「PBL」
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善→「授業で勝負」「個別最適な学びと協働的な学び」
- ◇多様性を踏まえた「誰一人取り残さない」教育→「ICT活用」「特別支援教育」
- ◇人の力を活用→「大仙教育メソッド」「ESDストーリーマップ」